



「明日を創る8つの約束」の経営計
評価数: 全196件 【集計期間: 2011年1月20日～2月7日】

市民は市の発展・個々の生活レベル向上に向け、これからも今以上の、ますます多彩で多様な要求があるはず。一方

で行政は、主権者(市民)からの意志や要望を、いただいた税金等に限られた財源の中で具現化することが仕事です。そして、需要に対して供給は、いつまで経っても追いつけない宿命を背負っています。これをどうやって乗り越えるかが行政能力だと思えます。そもそも現状に満足してしまつたら、それを乗り越えるわけがありません。多くの市民の皆さんは、「まだまだサービスの質、量とも足りないぞ」と言っていて、行政はできるだけ応える不断の努力が必要です。その指標になる、何か「が必要と考え、市民満足度力ウンター」を考案しました。

満足度力ウンターは、市政公約で約束していましたが、「たいへん満足しています」みたいなト

レンドにはならないうことも承知しての開設です。

仙北市のホームページに、先月中旬から「市民満足度力ウンター」がお目見えしています。市の行政サービスや政策について、市民の皆さんは満足していますか?、それとも不満ですか?と云う問いかけです。8つの市政公約に基づいて区分し、それぞれに5段階の評価ポタンをセット。ホームページをご覧になれる方は、いずれかのポタンをクリックするだけで、調査に参加できます。

この原稿を書いている2月6日現在で、評価は「とても不満7」「やや不満35」「不満はない29」「やや満足19」「とても満足28」となっています。とても緊張感のある指標です。毎日変化する評価を市職員と共有し、日々の公務の戒めとします。

まちづくり日記

No.21

「緊張感のある指標」

仙北市長 門脇 光浩

「ワーク・ライフ・バランス!」
「何だ それ?」「ワギャ人だちのこどだべえ!」「オラだちさだば あではまらねゴドだ!」などは、言っではいられないことなのです。

中高年には、一見して関係ない言葉だと思わず、ワーク(仕事)を『家事』に置きかえて、次のような場面を想像してみてください。

働き者の母さんが、風邪をひいて寝込んでしまいました。いつもは晩酌をして、台所に立ったことのない父さんが、母さんのために「おかゆ」を作ってくれました。(母さんは、うれしさと胸がいっぱいになりました。)

夕食の支度になるとむずかる孫を散

歩に連れ出し、面倒を見ているおじいちゃんの姿。病院やスパーでも「じいじ」と「ばあば」がお互いに寄り添い、助け合っている姿を目にした時、私たちの心にはポツと灯りがともります。

私たちは必ずどこかで、誰かを支えたり、誰かに支えられたりして生きています。それはまさに、『人』という字そのものです。この二画の文字のバランスも、どちらかが強すぎたり弱すぎたりすると崩れてしまいます。まさに、ワーク・ライフ・バランスの根幹はそこにあるのです。

互いに尊重し、ともに生きていくことができる世の中。人生の折り返し地点を過ぎた世代だからこそできる灯を、皆さんで増やしていきたいでしょう。

こんにちは!
男女共同参画推進委員会です
第5回 / 「ワーク・ライフ・バランス!」

男女イキイキ職場宣言

事業所紹介コーナー

事業所名	インスペック株式会社
業種	製造業
従業員数	34人
うち男性	32人
うち女性	2人
宣言(協定締結)年月日	平成18年1月12日
取組内容・効果	①女性管理職登用→1人 ②社内清掃等の全職員による実施 ③仕事と家庭の両立を支援する職場環境づくり

